

GOMYO SIGHTSEEING GUIDE



里山に癒やされる

五明の魅力をどんと満載

市内中心部から、直線距離で北東約 8.6 kmのところにある、標高 300m余りの風光明媚な高原地区です。水はけの良い花こう岩の土壌と、昼夜の温度差が大きい気候を生かし、古くからブドウの栽培が行われています。

◎野外活動センター



施設の利用情報

野外活動センターは「レインボーハイランド」の愛称で多くの市民に利用されています。研修や宿泊ができるスクールゾーン、オートキャンプや水遊びが楽しめるアドベンチャーゾーン、そして大人気のロジや常設テント、バーベキュー場があるキャンプゾーンの3つのゾーンで構成されており、四季折々の自然の移り変わりを楽しむことができます。

五明ふれ愛の館



2017年に古民家を改装してできた館は、コミュニケーションをはかる場であり、また五明に関わる人々の作品・史料の展示や物作りのつどいのスペースで、いつでも利用できます。

陶芸のつどいの風景



粘土を粗練り・菊ねりをして、回転台を使って湯飲みができています。



素焼きのできた器に、釉薬をかけているところ。どんな色になるか…。



窯で本焼きをし、翌日窯出しをした各自それぞれの自慢の作品です！

観光に関するお問い合わせ

松山市五明地区まちづくり協議会

五明一周周遊コース

わくわくスリル満点、魅力的なコース

一周約10kmのコースです。山間部の山あり谷ありの坂が多いコースになります。コースの所々にオススメ観光名所がありますので、休憩を取りながらのんびり行くと、充実した時間が楽しめます。

★スタートは、野外活動センター駐車場から反時計回りに下り、五明神社を左折してエリエールゴルフ場まで登り野外活動センターがゴールです。



<動画が見られるよ>
※コースを紹介した動画を参考にして下さい(裏面)

五明の特産品



<五明の高原ぶどう情報>

五明は花こう岩土壌と昼夜の温度差があるという、ぶどう栽培の好立地であり、糖度が高く、風味や色づきも良好で、非常に濃厚な甘みが特長です。ニュービーオーネ、藤稔、ブラックビート、シャインマスカットなどがあります。

五明の歳時記

- ◆どんど焼きまつり (1月中旬/場所: 五明小学校)
- ◆ふるさとまつり (2月中旬/場所: 五明公民館)
- ◆タケノコ掘りまつり (4月初旬/場所: 野外活動センター)
- ◆桜まつり (4月初旬/場所: 五明公民館)
- ◆ほたるまつり (6月上旬/場所: 神次郎町)
- ◆盆踊り大会 (8月14日/場所: 五明小学校)
- ◆地方祭 (10月初旬/場所: 地域全域)



◎五明地区(松山市野外活動センター)への交通

<いよてつバス路線>

▶松山市駅発→伊台経由→松山市野外活動センター終点(土・日・祝日のみ)
※平日の場合は上菅沢下車(城山行き or 神次郎行き)→徒歩 20分

<タクシー>

▶松山市駅発→伊台経由→松山市野外活動センター(約30分)
▶市内電車道後駅発→伊台経由→松山市野外活動センター(約20分)



裏面からアプリで動画が見られます

お薦め 名所旧跡 22選 観光スポット

五明の里の埋もれた、素朴な魅力を余さず紹介します。



(1)横山城跡

野外活動センター北側の山道を400mの場所に1334~38年頃、湯築城の背後を守る戦略的な拠点として河野通盛が築いた城跡があります。



(2)菅沢の石鎚

古くは五明地域も石鎚信仰が盛んで、石鎚山がよく見るところに遥拝所を設けお参りをし、雨が少ない年には村の男達が雨乞いをしたと言われています。



(3)木原の夕日★

瀬戸内海を一望できる場所のひとつです。昔、隣の部落の北条に、歩いて山越えて行く道でした。



(4)佛性寺

天長6年(829年)に24の支院があった大きなお寺で、菅沢出身の別当大使・光定上人により開創されたと伝わる。今のお寺は明治中期(1914~29年)建立されました。



(5)河内神社(菅沢)

菅沢町の梅木ヶ森に1830年以前に建てられた「河内八神大明神」が明治3年の藩令で「河内神社」と改められ、明治41年に柳谷の「河内神社」と合併しました。



(6)新田大明神

昔悪い病気の流行で私財を投げ出して助けてくれた湯山村藤野の「新田義治」と「義宗」の恩に報いるために、窪田家が組の人と力を合わせ建立した神社です。



(7)大師堂峠

菅沢町の入り口に位置し、弘法大師が寄られたとき、この峠で休まれたそうで、近所の人々がお堂を建て、8月20日には「お大師溝」を行なっています。



(8)五明神社

宝暦の石灯籠、天保の石段の「美津気神社」は明治3年の藩令で「美津気社」、明治43年城山・小屋・梅木の神社を全部合併し「美津気神社」に。現在は「五明神社」です。



(9)産王権現神社

五明川と柳谷川の合流する城山町にあり、火災による焼失で詳細は定かでない。境内の常夜灯には文化11年(1814年)と刻まれています。



(10)乳水が水(うばがみず)注

近くの人々が子育てに愛飲させていたために「乳水が水(うばがみず)」と呼ばれるようになり、小雨の年でも濡れること無く愛媛の名水として多くの人が汲みに来ている。



(11)三段の滝と蛇の巣注

3つの滝が連なった五明川一の景観。一番上の滝は魚が登れない為「魚切りの滝」といい、滝壺は昔大蛇が住んでいた為「蛇の巣」と呼ばれています。



(12)兜岩(かぶといわ)

高縄城主の河野通信が伊予水軍との戦いでこの岩の上に兜を置き逃げたと言われ、敵がその兜を通信と思いつ近づいても逃げないので、不気味に思い逃げたと言われていました。



(13)巖島神社

安芸(広島)の宮島から市杵島媛命(いちきしまひめのみこと)のご神体をいただき、文久2年(1862年)に中島の木工菊太郎らによって建てられました。



(14)つぼえの水

数百年前から湧き出ているとされている、地元では有名な名水。地元の子供たちは、皆、この水を飲んで育ったということです。



(15)河内神社(柳谷)★

かつては菅沢河内神社の本社だったと言われ、明治42年、菅沢河内神社に合併後もお祭りされており、「ツヤ」という集まりが残っています。



(16-17)幸次ヶ峠と首無し地藏★

柳谷から旧北条へ抜ける峠(標高525m)で、多くの人々が通っていたと言われ、旧北条の人と盗賊との争いで死者を祀った首無し地藏が残っています。



(18)絶景ポイント

瀬戸内海を見下ろせる絶景ポイントで、サイクリング、ハイキングに四季折々楽しめます。興居島、中島、鹿島などの島々が展望できます。



(19)駒のつめ

ゴルフ場手前右手。昔、敗戦の武士が馬で大月山などから飛び渡った時のひづめのようなくぼみのある長方形の大きな石を「駒のつめ」と呼んでいます。



(20)河内神社(上総)

梅木と上総の中間、小宮という地に河内八社大明神があったそうで、幕末に2つに分けお祀りするようになり、寛政10年(1798年)頃建てられたそうです。



(21)河内神社(梅木)★

2つに分けられたもう一つの神社で、常夜灯には文化11年(1814年)とあり、各家でご馳走(重詰め)を作り、集まって参拝し、夜の更けるまで酒盛りをしたそうです。



(22)大山積神社★

兜岩から徒歩20分。境内には2本の大杉(雌雄)があり、雌杉のコブを煎じて飲むと産後の乳の出が良くなると言われ、80年前採掘されコブの部分だけが神社に残っているそうです。

注印のところ 足元が不安定です。注意が必要です。

★印のところ 悪路で危険を伴う可能性があります。お一人での見学はお薦めいたしません。